

# 5Gを前に、世界は/住友商事グループはどう変わればいいのか

製造業に対し強みを持つ住友商事マシネックスと、インフラに対し知見を持つケーブルテレビ事業部が共に見る5Gの世界とは



## 住友商事マシネックス 横井部長

### 5Gはデータだけでなく、モノをも繋げる

製造業界で1,500社もの顧客を持つ、住友商事マシネックス。横井部長は、これまでのづくりに求められてきたコスト、スピードに加えて高まっているオリジナリティへのニーズに対し、いかに5Gを通じて、データだけでなくモノをも繋げるか。そこに現場で培ってきた知見をどう生かすかが鍵だと語る。

## ケーブルテレビ事業部 上舞チームリーダー

### 5Gは、長年の課題やかつて諦めたアイデアを 解決/実現できる可能性を高めている

4Gが本格化した時でさえ、予想を超えるサービスが生まれてきたが5Gはそれらを更に塗り替える、誰もが予想しないサービスを生むポテンシャルがある。つまり、予想できないということは自分達は今のビジネスをより良くするために何をしたいのかこれが事業開発の最も重要なポイントになると語るのはケーブルテレビ事業部の上舞チームリーダーだ。



# 5Gを前に、世界は/住友商事グループはどう変わればいいのか

- 何故、製造業に知見を持つ住友商事マシネックスがローカル5Gの活用を検討しているのでしょうか。  
限られた地域、つまり**工場**や**物流センター**、**空港**、**スマートシティ**等でのユースケースが考えられるからです。ものづくりに強みのあるドイツが先行して実証実験に取り組んでおり、全世界では次いで日本だけがローカル5Gの活用に取り出そうとしています。工場生産ラインの大容量のデータ伝送、遠隔医療などの実現が可能になります。

住友商事マシネックス  
横井部長

- 住友商事マシネックスがこれまで培ってきた製造業での知見はどのように活かされるのでしょうか。  
5Gは様々なモノをつなぐインフラです。重要なのはその上にどのようなアプリケーションを載せるか。そしてそのユーザーは人間、つまり泥臭く懐に入り込んでニッチな課題を追求していく必要があります。私達はこれまでの知見を活かした、**課題追求力**を武器にできると考えています。これからはどんな分野においても**オリジナリティ**が競争を勝ち抜く鍵になってくる。5Gが到来するデジタル時代では、スマートさを手に入れる/提供するために**いかに汗をかけるか**が重要だと思っています。

ケーブルテレビ事業部 上舞TL

- ケーブルテレビ事業部としては、5Gをどのように活用できると考えていますか。  
例えば、有線ネットワークを持っているJ:COMの**ラストワンマイル**、すなわち各家庭に繋ぎこむ部分の有線を5Gによって無線化できないか考えています。また、ケーブルテレビ事業の**地域密着**という特徴を生かした、各地域の工場・物流センター等の高度化に取り組んでいくことで、**地方創生**にも貢献できると考えています。これはB to Cだけでなく、B to Bへの**ビジネスモデル変革**にも繋がります。

- 5Gの事業化を推進する上で意識していることはありますか。  
住友商事グループが5Gを活用していくためには、様々な企業といかに**協奏**できるかが鍵だと思っています。例えば、5Gを円滑に利用するためにはより多くの基地局が必要だ、というニーズがあります。人がたくさん集まる場所や、各家庭とのアクセスポイントを多く持っている鉄道・電力会社とコラボレーションすれば、彼らが持っている駅施設や電柱等の資産を基地局として活用できるかもしれません（実際にこのアイデアは今実現に向けて走り出しています）。  
これはインフラだけでなく、アプリケーションにおいても同じことが言えます。製造業であれば住友商事マシネックスとの協奏、物流センターであれば物流部隊、空港であれば・・・、スマートシティであれば・・・、のように当社グループはコラボレーションによって様々な価値を生み出せると思っています。**5G**は、長年抱え続けている課題や、思い描いていたがかつては技術的に実現不可能だったアイデアを、**解決/実現できる可能性**があります。私達は各事業分野で汗を流している皆さんに寄り添って、5Gがどう刺さるのか一緒に考えていく、**社内のインフラ=横串**として機能する必要があると強く思っています。



- 5Gはこれまでの通信と何が違うのでしょうか。  
現行4Gに比べ、3つの点で飛躍的な進化を遂げます。  
1. 超高速（現行4Gの100倍）  
2. 超低遅延（現行4Gの10分の1）  
3. 同時多数接続（現行4Gの30~40倍）

- ローカル5Gってなんですか。  
携帯キャリア以外の事業者が免許を取得できる5Gで、**限られた地域**（工場や物流センター、空港、スマートシティ等）でのみ使用する、B to B (to X) 向けの5G通信のことです。